

S1C31 マニュアル正誤表

項目: SLEEP モード時のクロック供給			
対象マニュアル	発行 No.	項目	ページ
S1C31D50/D51 テクニカルマニュアル	413699306	21.3.2 SLEEP モード時のクロック供給	21-4
<p>(誤)</p> <p>21.3.2 SLEEPモード時のクロック供給</p> <p>SLEEP モード時は SYSCLK が停止するため、HWP と SDAC は停止します。HWP 動作中は SLEEP モードに移行しないでください。</p>			
<p>(正)</p> <p>21.3.2 HALT, SLEEPモード時のクロック供給</p> <p>HALT または SLEEP モード時は SYSCLK が停止するため、HWP と SDAC は停止します。HWP 動作中は HALT または SLEEP モードに移行しないでください。</p>			

S1C31 マニュアル 正誤表

項目 16ビット PWM タイマ(T16B)			
対象マニュアル	発行 No.	項目	ページ
S1C31D50/D51 テクニカルマニュアル	413699306	17.4.1 初期設定	17-4 17-5
S1C31D41 テクニカルマニュアル	414190401	17.4.1 初期設定	17-4 17-5
S1C31W65 テクニカルマニュアル	414063202	16.4.1 初期設定	16-4 16-5
S1C31W73 テクニカルマニュアル	414076201	17.4.1 初期設定	17-4 17-5
S1C31W74 テクニカルマニュアル	414076201	17.4.1 初期設定	17-4 17-5
S1C31D01 テクニカルマニュアル	413520302	17.4.1 初期設定	17-4 17-5
<p>(誤)</p> <p>コンパレータモード時の初期設定</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. T16B Ch.<i>n</i>動作クロックを設定する。 2. T16B_nCTL.MODENビットを1に設定する。 (T16B動作イネーブル) 3. T16B_nCCCTL0およびT16B_nCCCTL1レジスタの以下のビットを設定する。 <ul style="list-style-type: none"> - T16B_nCCCTL.m.CCMDビットを0に設定* (コンパレータモードに設定) - T16B_nCCCTL.m.CBUFMD[2:0]ビット (コンペアバッファの設定) <p>* コンパレータ/キャプチャ回路は、ペア(回路0&1、2&3、4&5)の一方をキャプチャモードに設定することも可能です。 TOUT_{nm}出力を使用する場合は以下のビットも設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> - T16B_nCCCTL.m.TOUTMTビット (波形生成信号の選択) - T16B_nCCCTL.m.TOUTMD[2:0]ビット (TOUT信号生成モードを選択) - T16B_nCCCTL.m.TOUTINVビット (TOUT信号極性の選択) 4. T16B_nMCLレジスタを設定する。 (MAXカウンタデータを設定) 5. T16B_nCCR0レジスタ、T16B_nCCR1レジスタを設定する。 (カウンタ比較値を設定) 6. 割り込みを使用する場合は以下のビットを設定する。 <ul style="list-style-type: none"> - T16B_nINTFレジスタの割り込みフラグに1を書き込み (割り込みフラグをクリア) - T16B_nINTEレジスタの割り込みイネーブルビットを1に設定 (割り込みイネーブル) 7. DMA転送を使用する場合は、DMAコントローラを設定すると共に以下のT16B制御ビットを設定する。 <ul style="list-style-type: none"> - T16B_nMZDMAEN、T16B_nCCmDMAENレジスタのDMA転送要求イネーブルビットに1を書き込む (DMA転送要求イネーブル) 8. T16B_nCTLレジスタの以下のビットを設定する。 <ul style="list-style-type: none"> - T16B_nCTL.CNTMD[1:0]ビット (カウントアップ/ダウン動作の選択) - T16B_nCTL.ONESTビット (ワンショット/リピート動作の選択) - T16B_nCTL.PRESETビットを1に設定 (カウンタリセット) - T16B_nCTL.RUNビットを1に設定 (カウント開始) <p>キャプチャモード時の初期設定</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. T16B Ch.<i>n</i>動作クロックを設定する。 2. T16B_nCTL.MODENビットを1に設定する。 (T16B動作イネーブル) 			

3. T16B_nCCCTL0およびT16B_nCCCTL1レジスタの以下のビットを設定する。
- T16B_nCCCTL_mCCMDビットを1に設定* (キャプチャモードに設定)
 - T16B_nCCCTL_mSCSビット (同期/非同期モードの設定)
 - T16B_nCCCTL_mCAPIS[1:0]ビット (トリガ信号の設定)
 - T16B_nCCCTL_mCAPTRG[1:0]ビット (トリガエッジの選択)
- * コンパレータ/キャプチャ回路は、ペア(回路0&1、2&3、4&5)の一方をコンパレータモードに設定することも可能です。
4. T16B_nMCLレジスタを設定する。 (MAXカウンタデータを設定)
5. 割り込みを使用する場合は以下のビットを設定する。
- T16B_nINTFレジスタの割り込みフラグに1を書き込み (割り込みフラグをクリア)
 - T16B_nINTEレジスタの割り込みイネーブルビットを1に設定 (割り込みイネーブル)
6. DMA転送を使用する場合は、DMAコントローラを設定すると共に以下のT16B制御ビットを設定する。
- T16B_nMZDMAEN、T16B_nCCmDMAENレジスタのDMA転送要求イネーブルビットに1を書き込む (DMA転送要求イネーブル)
7. T16B_nCTLレジスタの以下のビットを設定する。
- T16B_nCTL.CNTMD[1:0]ビット (カウントアップ/ダウン動作の選択)
 - T16B_nCTL.ONESTビット (ワンショット/リピート動作の選択)
 - T16B_nCTL.PRESETビットを1に設定 (カウンタリセット)
 - T16B_nCTL.RUNビットを1に設定 (カウント開始)

(正)

コンパレータモード時の初期設定

1. T16B_nCh_n動作クロックを設定する。
2. T16B_nCTL.MODENビットを1に設定する。 (T16B動作イネーブル)
3. T16B_nCCCTL0およびT16B_nCCCTL1レジスタの以下のビットを設定する。
 - T16B_nCCCTL_mCCMDビットを0に設定* (コンパレータモードに設定)
 - T16B_nCCCTL_mCBUFMD[2:0]ビット (コンペアバッファの設定)

* コンパレータ/キャプチャ回路は、ペア(回路0&1、2&3、4&5)の一方をキャプチャモードに設定することも可能です。

TOUT_{nm}出力を使用する場合は以下のビットも設定する。

 - T16B_nCCCTL_mTOUTMTビット (波形生成信号の選択)
 - T16B_nCCCTL_mTOUTMD[2:0]ビット (TOUT信号生成モードを選択)
 - T16B_nCCCTL_mTOUTINVビット (TOUT信号極性の選択)
4. T16B_nCTL.MAXBSYビットが0になっていることを確認する。
5. T16B_nCCR0レジスタ、T16B_nCCR1レジスタを設定する。 (カウンタ比較値を設定)
6. T16B_nMCLレジスタを設定する。 (MAXカウンタデータを設定)
7. 割り込みを使用する場合は以下のビットを設定する。
 - T16B_nINTFレジスタの割り込みフラグに1を書き込み (割り込みフラグをクリア)
 - T16B_nINTEレジスタの割り込みイネーブルビットを1に設定 (割り込みイネーブル)
8. DMA転送を使用する場合は、DMAコントローラを設定すると共に以下のT16B制御ビットを設定する。
 - T16B_nMZDMAEN、T16B_nCCmDMAENレジスタのDMA転送要求イネーブルビットに1を書き込む (DMA転送要求イネーブル)
9. T16B_nCTL.MAXBSYビットおよびT16B_nCTL.RUNビットが0になっていることを確認する。
10. T16B_nCTLレジスタの以下のビットを設定する。
 - T16B_nCTL.CNTMD[1:0]ビット (カウントアップ/ダウン動作の選択)
 - T16B_nCTL.ONESTビット (ワンショット/リピート動作の選択)
 - T16B_nCTL.PRESETビットを1に設定 (カウンタリセット)
 - T16B_nCTL.RUNビットを1に設定 (カウント開始)

キャプチャモード時の初期設定

1. T16B Ch.*n*動作クロックを設定する。
2. T16B_*n*CTL.MODENビットを1に設定する。 (T16B動作イネーブル)
3. T16B_*n*CCCTL0およびT16B_*n*CCCTL1レジスタの以下のビットを設定する。
 - T16B_*n*CCCTL*m*.CCMDビットを1に設定* (キャプチャモードに設定)
 - T16B_*n*CCCTL*m*.SCSビット (同期/非同期モードの設定)
 - T16B_*n*CCCTL*m*.CAPIS[1:0]ビット (トリガ信号の設定)
 - T16B_*n*CCCTL*m*.CAPTRG[1:0]ビット (トリガエッジの選択)

* コンパレータ/キャプチャ回路は、ペア(回路0&1、2&3、4&5)の一方をコンパレータモードに設定することも可能です。
4. T16B_*n*CTL.MAXBSYビットが0になっていることを確認する。
5. T16B_*n*MCLレジスタを設定する。 (MAXカウンタデータを設定)
6. 割り込みを使用する場合は以下のビットを設定する。
 - T16B_*n*INTFレジスタの割り込みフラグに1を書き込み (割り込みフラグをクリア)
 - T16B_*n*INTEレジスタの割り込みイネーブルビットを1に設定 (割り込みイネーブル)
7. DMA転送を使用する場合は、DMAコントローラを設定すると共に以下のT16B制御ビットを設定する。
 - T16B_*n*MZDMAEN、T16B_*n*CCmDMAENレジスタのDMA転送要求イネーブルビットに1を書き込む (DMA転送要求イネーブル)
8. T16B_*n*CTL.MAXBSYビットおよびT16B_*n*CTL.RUNビットが0になっていることを確認する。
9. T16B_*n*CTLレジスタの以下のビットを設定する。
 - T16B_*n*CTL.CNTMD[1:0]ビット (カウントアップ/ダウン動作の選択)
 - T16B_*n*CTL.ONESTビット (ワンショット/リピート動作の選択)
 - T16B_*n*CTL.PRESETビットを1に設定 (カウンタリセット)
 - T16B_*n*CTL.RUNビットを1に設定 (カウント開始)